

中日友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0933
東京都台東区浅草橋2-2-3
4F 4F 5F 5F
電話 03(5638)2140(FU)
FAX 03(5638)2141
http://www.jcf-nsf.jp
E-mail:chuhwa@jcf-nsf.jp
社印 00119-1-21178

日中友好協会
岡山支部
〒705-0034
岡山市北区下伊福
西町1-53 民生会館1F
TEL: FAX 0861 250-1806

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福河町東2461-45
TEL: FAX 0861 411-7800



題字 藤原田 親
No. 960
2021/11/1

日中友好新聞

第14回岡山県支部連合会結成打ち合わせ会

犬飼 繁

10月8日(金)、表記の会が14...30(倉敷市役所第三応接室)で開催されました。参加者は岡山支部から真田支部長、河井理事長、小林事務局長、倉敷支部から宇野理事長、大本副理事長と私の6人でした。

今回は、前回で検討した連合会会則の再検討を行いました。それについて紹介します。

第1条 前略「事務所は岡山市北区下伊福西町1-53に置く」に変更。

第2条 「この会は、日本中国友好協会本部と支部を結ぶ中間機関であって、協会の規約(以下略)」

↓「この会は、日本中国友好協会本部(略称協会)と支部を結ぶ中間機関であって、協会の規約(以下略)」に変更。

第5条二 「理事会(中略)理事長がこれを招集する。」↓以下を削除

第5条三として、以下を新設。「事務局 総会の決定に基づいて本会の業務を執行する機

岡山県母親大会2021年でハンセン病問題を通じて人権問題を考えました。

稲葉 泰子

「66年前のビキニの水爆実験に強い不安と怒りを抱いた母親たちが二度と戦争をしてはならないと声をあげ開催したのが母親運動のはじまりです。」「コロナの

今こそ、母親・女性たち、つながろう」と大会宣言を読み上げました。コロナ禍で2年ぶりの開催、瀬戸内市で行われる予定だったのですが、DOOMで参加しました。記念講演は則武弁護士のため

関である事務局を置き、会計などの日常業務を担当する。事務局は事務局長、事務局次長と理事若干名で構成する。」

第5条三↓四へ 第5条四↓五へ 変更します。

第6条一「会長 1名 副会長 1名 理事長 1名 副理事長 1名 事務局長 1名 事務局次長 1名 理事 若干名 会計監査 2名」↓「会長 1名 副会長 若干名 理事長 1名 副理事長 若干名 事務局次長 1名 事務局 若干名 会計監査 2名」に変更



今、ハンセン病問題を考えねばならないのか?」と問題提起した話でした。

「開拓魂」慰霊祭に参加して(2)

青木 康嘉

「一月後、新京駅から5キロ南下した順天公園前にある満州中央銀行独身寮である 神泉寮」に落ち着き、そこでの自活生活が始まった。順天公園の緑を背にして威風堂々とそびえる二階建て、満州中央銀行の独身寮であ

二面へ続く

日本のハンセン病は1931年にライ予防法が制定されて病気になる方々の収容がはじまっているのですが、この問題を、ナチスの安楽死計画(「4作戦」)(重い障害のある人を価値なき生命とみなした)や神奈川県相模原市の障害者施設で元職員によって19名が殺され、20名が負傷する津久井やまゆり園の事件を紹介することによって、優生思想が流れている問題でもあると言われました。

ライ病は非常に感染力が弱く、1943年、戦争中にプロミンという薬ができ完治することがわかったにもかかわらず、1996年3月になってはじめて、ライ予防法が廃止されたのです。その間50

年近く、強制隔離、病気が治っても一生療養所から出さない、治療・療養でなく、患者を絶滅させるといふやりかたに終始しているのです。断種や亡くなっても故郷に帰ることができないという、人権問題にもなっているのです。今一度、長島愛生園を訪れ、住民と交流をして、優生思想との闘いを新たにしたいものです。最後に、当時、10坪の住宅で複数の夫婦が共同で暮らさないといけなかった、人権差別の現実を残そうと、募金活動をしている、十坪運動にご協力を、と訴えられました。

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhongyouhao.jinaa.net/
メールアドレス
nicchukayama@yahoo.co.jp



一面からの続き

浩良大島開拓団員は、長春の街で皆めいめい生きる道に入った。立ち売り(甘酒、かがみ納豆、お饅頭を売った)、ソ連軍の使役・、そして国民党と八路军の内戦の銃撃も飛んできた。ここでは、乳幼児だけでなく、女性や子どもも発疹チフスや栄養失調で死亡した。

1946年7月19日 神泉寮に別れを告げることになった。南新京駅から雨の中無蓋列車に乗った。錦州はコレラが発生して足止めを食った。この1か月の足止め中演芸会を島村団長が企画し、避難行を涙ながら歌ったのはこの時である。胡蘆島から引揚げ船に乗って、8月23日博多

港へ上陸した。約1年間かかった引き揚げだった。

浩良大島開拓団では、アメリカ赤痢などによる在団中死亡者9名、引き揚げ中発疹チフスや栄養失調で死亡した者68名(乳幼児41名)、応召者59名中戦死者7名という記録がある。乳幼児の死亡者が引き揚げ中の6割を占めている数字が、艱難辛苦の悲劇を物語っている。2019

年夏、私たちは伊藤明子さんを連れて、浩良大島開拓団の関係する跡地を訪ねる旅をした。慰霊式終了後は、古城山の東屋でそれぞれが自己紹介をして、浩良大島開拓団との関わりや近況報告をした。

「対中感情が悪化する中での日中友好運動の意義と展望」を語る(1)

日中友好協会倉敷支部 宇野 忠義

本年7月3日、倉敷支部総会・文化講演会(ズーム形式)において、日本中国友好協会事務局長 矢崎光晴氏が、表題のテーマで、熱と気迫のこもった報告をされた。日中友好運動にとつて、避けて通れない問題であり、紹介と若干の考察をしてみたいと思います。

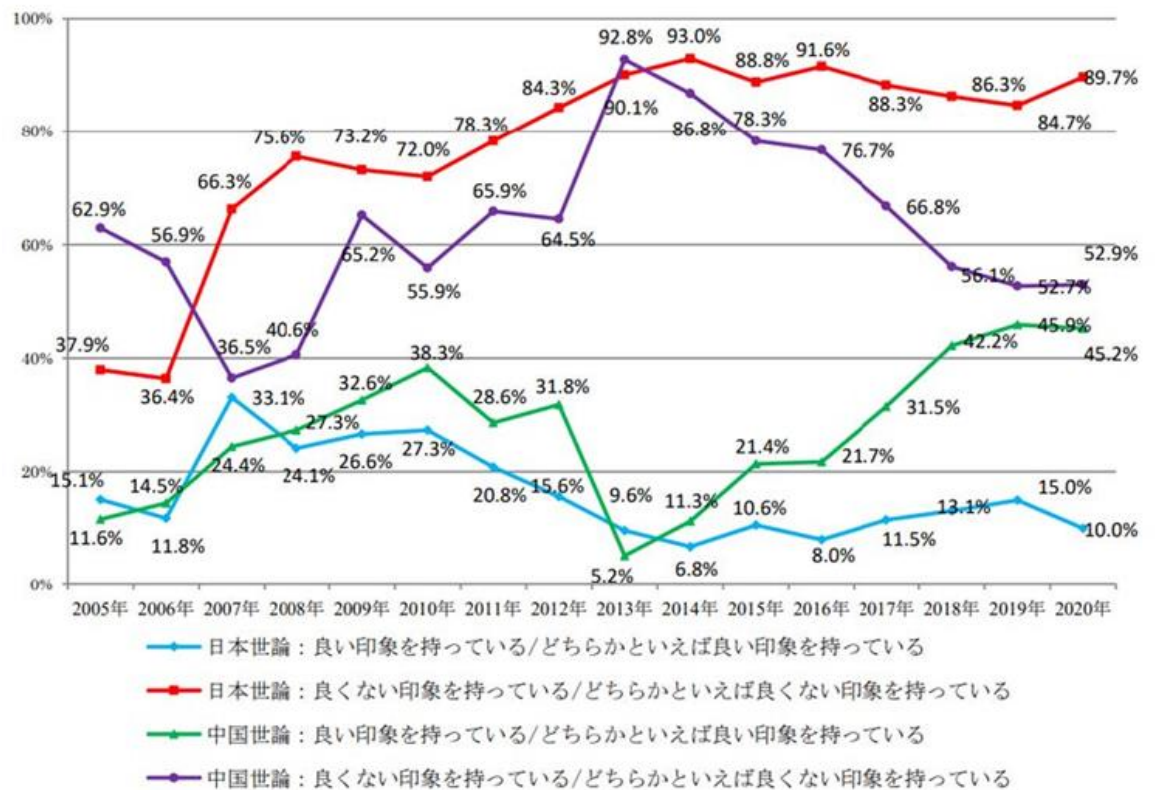
一 報告では、
1. 全国の会員が抱く困惑と悩み
(1) 尖閣問題、香港問題、人権・民主主義の問題など
(2) 日中友好新聞10〜15号「協会70年を迎えて」への北海道・寺本千名夫さんの投稿の紹介。
① 性急な反発・批判



ではない高度な対応の必要性、
② 中国政府と一般市民の意識のずれ、③ 国民レベルの友好交流活動の促進
2. 国民同士の交流が生み出す力
(1) 日本国民の厳しい目が注がれているのは中国政府の施策
(2) 政府の動きに対する中国の国民の様々な思いや意見の存在
(3) 中間法律事務所訪日団の協会本部訪問と交流

が、最初になされました。それに関連して、注目すべきアンケート調査の結果が示されました。「日中共同世論調査が明らかにする歴史認識の問題」にかかわる次の二つのグラフです。

【相手国に対する印象】



次号から もう一つ、中国世論のグラフ、アンケートの考察など倉敷支部の文化講演会からの考察を掲載。

次回の新聞送作業は11月12日(金)午前10時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。田飼林田内井池犬小真竹坪